

水稻種子の優良産地「奥越」

私たちの主食であるお米の生産は、健全で安定した品質の種子を用い、苗を作るところから始まります。奥越地域では、良質な米生産の礎となる水稻種子の産地として、厳格な生産管理のもと高品質の種子生産を行っています。

福井県内の水稻農家はもちろん、県外の米産地にも種子の供給をしており、生産および品質の管理に対し高い評価を得ています。



1 生産概況

①生産規模

コシヒカリをはじめとする福井県が育成した品種の種子を生産しています。
新しい水稻品種「いちほまれ」の種子生産も、ここ奥越地域で行っています。

栽培面積 : 大野地区 約 220ha
勝山地区 約 20ha

栽培品種 : 10品種

【ハナエチゼン（早生）、コシヒカリ（中生）、いちほまれ（晩生）、あきさかり（晩生）、日本晴（晩生）、五百万石（酒・早生）、他】

②種子生産の流れ

品種固有の優良な特性を持ち、高い発芽率の優れた種子の生産を確保するため、刈取り前から異品種等の抜き取りを徹底するなど、厳しい品質管理を行っています。

